



コンパクトクールKIT 取扱説明書

(ラバーホース)

商品番号 : 07-07-0120 (3-Fin)

: 07-07-0121 (4-Fin)

適応車種 : DAX (12V)

適応製品 : 弊社製スペシャルクラッチカバー(ダイカスト)取り付け車

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
製品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
当製品は、上記適応車種に適応製品を取り付けた車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
ノーマルヘッド及びR - Stageヘッド取り付け車専用。
補修部品に付きましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
当製品の取り付けには、上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。又、各車両の仕様に応じたガスケット、パッキン等が別途必要です。



注意

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。



警告

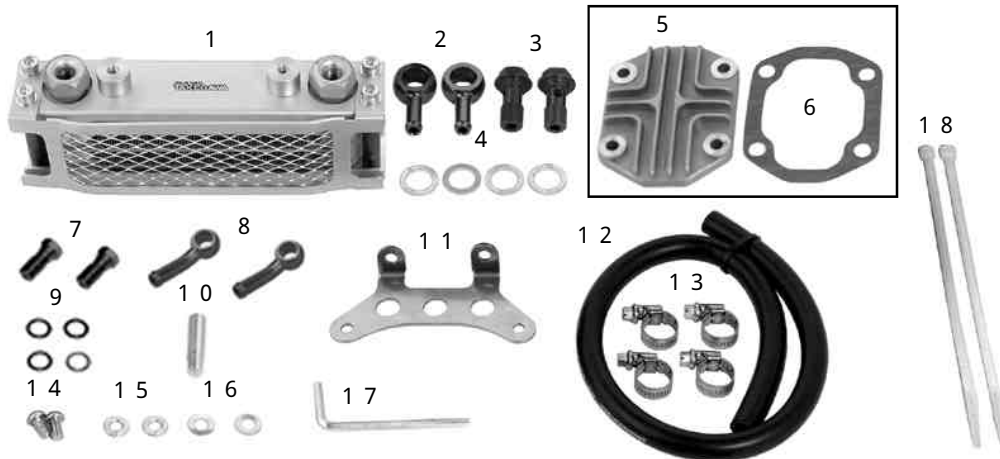
この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～ 商 品 内 容 ～

0 0 0—0 3—1 1 9



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数	番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	コンパクトクーラー 3 F I N	1	0 0—0 7—0 0 0 8	1	1 0	オイルホールプラグ	1	1 9 3 3 1 - G E F - T 0 0	1
	コンパクトクーラー 4 F I N	1	0 0—0 7—0 0 5 5	1	1 1	オイルクーラーステー	1	1 5 6 7 1 - G K 4 - T 0 0	1
2	オイルユニオン	2	0 0—0 7—0 0 8 1	1	1 2	オイルホース 7 0 0 mm	1	0 0—0 7—0 0 1 8	1 m
3	ユニオンボルト (M 1 2 × P 1 . 0)	2	0 0—0 7—0 0 3 4	1	1 3	ホ - スクランプ	4	0 0—0 0—0 0 5 2	2
4	シーリングワッシャ 1 4 mm	4	0 0—0 7—0 0 4 2	5	1 4	ボタンヘッドスクリュー 6 × 1 0	2	0 0—0 0—0 0 9 2	5
5	シリンダーヘッドカバー	1		1	1 5	スプリングワッシャ 6 mm	2	0 0—0 0—0 2 0 3	1 0
6	シリンダーヘッドガスケット	1	0 0—0 1—0 1 5 6	2	1 6	ブレンワッシャ 6 mm	2	0 0—0 0—0 0 8 6	1 0
7	バンジョーボルト M 1 0	2	0 0 - 0 7 - 0 0 3 8	1	1 7	六角棒レンチ 4 mm	1		
8	バンジョー M 1 0 (3 0 °)	2	1 5 6 6 1 - K T K - T 0 0	1	1 8	タイラップ 2 0 0 mm	2	0 0—0 0—0 1 7 9	1 0
9	シーリングワッシャ 1 0 mm	4	0 0 - 0 7 - 0 0 1 0	1 0					

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～ 取 り 付 け 要 領 ～

キット取り付けの際、シリンダーヘッド締め付けナットを取り外す作業があります。
一度シリンダーヘッド締め付けナットを取り外すとシリンダーヘッドガスケット、シリンダーガスケットは新品と交換して頂く必要があります。
エンジン仕様に合ったガスケット、パッキンを別途ご用意下さい。

- シリンダーヘッド締め付けナット 4 個を取り外します。
一度シリンダーヘッド締め付けナットを緩めるとシリンダーヘッドガスケット、シリンダーガスケットは再使用出来ません。
必ず新品に交換して下さい。
- ホンダ純正サービスマニュアル、又は弊社製ボアアップキット取り付けマニュアルを参考の上、シリンダーヘッド、シリンダーを取り外し、各ガスケット、パッキンを新品に交換してシリンダー、シリンダーヘッドを取り付けて下さい。
- シリンダーヘッドカバー取り付け面にガスケット、シリンダーヘッドカバーを取り付けます。
シリンダーヘッドカバーの矢印を下方に向けて取り付けます。

- 上側 2 本のスタッドボルトにクーラーステーを取り付け、ワッシャ、ナットの順に取り付け締め付けます。

△ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：1 0 N ・ m (1 . 0 k g f ・ m)

クーラーステーの向きに注意して下さい。



- オイルクーラー COMP . のオイルクーラープレートを上逆に組み替え、取付けボスが下を向く様にします。



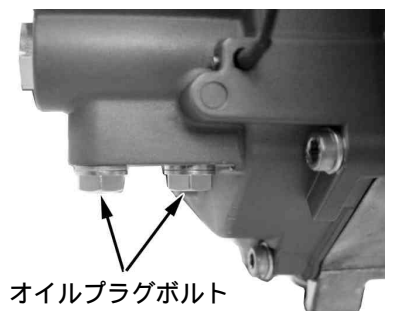
取り付けボス

- オイルクーラーステーにオイルクーラー COMP . をボタンヘッドスクリュー (6 × 1 0) 、スプリングワッシャ (6 mm) 、ブレンワッシャ (6 mm) で取り付け締め付けます。

△ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：1 0 N ・ m (1 . 0 k g f ・ m)

オイルクーラー COMP . とフロントフェンダーの隙間が狭過ぎる場合はオイルクーラーガードを取り外す等を行い対応して下さい。

- オイルユニオンをシーリングワッシャ (1 4 mm) 2 枚で挟み、オイルクーラーにユニオンボルトで仮締めします。
- クラッチカバー下にオイル受け皿を設け、オイルプラグボルト 2 本を取り外します。
ボルトを取り外した際、オイルフィルター内のオイルが漏れ出す可能性があります。
(オイル受け皿を設ける事をお勧めします。)



オイルプラグボルト

9. バンジョーM10(30°)をシーリングワッシャ10mm2枚で挟み、クラッチカバーに仮締めします。
(この際にバンジョーの曲がった先が上向きになる様に取り付けて下さい)



上向きになる様に

10. オイルホースを適当な長さに切断します。オイルホースにホースバンドを通し、各部品に干渉しない様に確認し、オイルクーラーユニオン及びユニオンに差し込みます。
取り付けが完了すればホースバンドを締め付け、付属のタイラップを2本使用し、ホース同士を固定して下さい。
D-STYLEマフラーを取り付けしている場合、ホースが干渉しない様注意し、取り回しを行って下さい。
オイルホースを切断する前に取り回す予定の位置、長さの確認を行う事をお勧め致します。
オイルホースを差し込む際、ユニオンに微量のオイルを塗布すると差し込みが容易になります。
塗布した場合、はみだしたオイルは綺麗に拭き取して下さい。



11. それぞれのバンジョーの向きを調節し、バンジョーボルトM10とバンジョーボルトM12を締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルト M12

$T = 22.5 \text{ N} \cdot \text{m} (2.3 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

バンジョーボルト M10

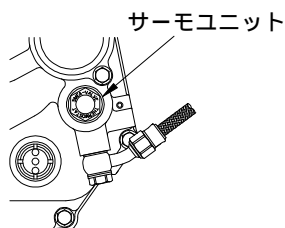
$T = 14 \text{ N} \cdot \text{m} (1.4 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

バンジョーボルトM12の締め付けは、オイルクーラーヘッダー(6角部分)に必ずスパナ等を掛けた状態で行って下さい。

12. 各部の緩みが無い様チェックし、フューエルタンクとシートを取り付けます。

13. (サーモユニットを取り付ける場合)

ホールキャップを取り外し、サーモユニットを取り付けます。
サーモユニット取扱説明書をご確認下さい。

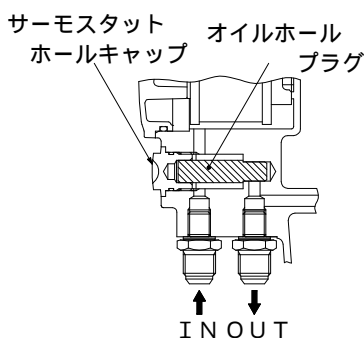
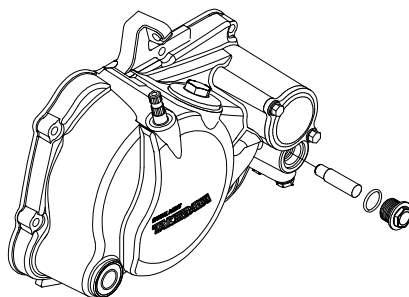


- (サーモユニットを取り付けない場合)

- ・サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
- ・サーモスタットホールキャップのリングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを指定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：13 N・m (1.3 kgf・m)



14. オイルホースを適当な長さに切断し、オイルクーラーユニットとオイルユニオンに差し込み、ホースクランプを締め付けます。

15. オイルホースが他の部分と著しく干渉しない様に取り回しに注意しユニオンボルトを締め付け、タイラップでホースを束ねます。
ユニオンボルト締め付け時は、オイルクーラーヘッダー部分に必ずスパナ等を掛けて固定して下さい。固定せずにユニオンボルトを締め付けるとオイルクーラーヘッダー部分が破損します。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：22.5 N・m

(2.3 kgf・m)



16. マフラーを取り付け、エンジンオイルを60cc程度追加しエンジンを掛け各部よりオイル漏れの有無を確認し、エンジンを止め約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあることを確認して少ない場合は補充して下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>